

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年6月25日第130号—

<目次>

● 学校給食の無償化を求める川崎市民の会、スタート！

■ 市議会でガザ停戦を求める決議が採択

▲ お知らせコーナー

- ① 6/27 大和ハウス本社前行動
- ② 6/28～7/3 戦争の加害展 in 麻生 2024
- ③ 6/29 ゆめシネマ「マリウポリの20日間」
- ④ 7/7 川崎母親大会

★編集後記

● 学校給食の無償化を求める川崎市民の会、スタート！

6月23日に、川崎産業振興会館研修室に90名が参加し、「学校給食の無償を求める川崎市民の会」が結成されました。

そして、市長がやらないなら市民の力で学校給食の無償化を実現しようと熱気にあふれた会となりました。

<第1部は映画「希望の給食」を観ての感想交流>

この映画は「食と農がつむぐ自治と民主主義」とのサブタイトルがついています。

給食無償化は、子育て世代支援や貧困対策に留まるものではなく、どのような食材を使うのかをきっかけに、地域づくりの希望とつながることを強く訴えています。

グループになっての感想交流は、参加者全員が発言し、おおいに盛り上がりました。

そして、各グループから、1分間で報告を発表してもらいました。(発言の要旨の一部は以下)

- ・ 学校給食から、私たちの食についての考えを変えていける。
- ・ 自校調理の大切さを再認識した。川崎の中学校のセンター方式はどうなっている。
- ・ 給食費が9年間で50万円の負担は大きい。娘夫婦は、川崎がいやで給食無償化の世田谷にいます。
- ・ 夏休み明けにやせてしまう子どもたちがいる。川崎市は給食の回数も少ない。
- ・ 無償化が実現する市民の力があれば、川崎のまちづくりの夢が広がる。
- ・ 無償化と地元農家との連携が日本の自給率38%を見直すきっかけになる。

<第2部は、無償化を実現するにはどうするかを意見交流>

この会を準備してきたメンバーから、「行動提案」を行いました。

- (1) 学校給食の無償化実現の一点で共同し、学校給食の無償を求める川崎市民の会を結成する。
- (2) 署名目標は2万筆以上とし、期間は6月30日(日)から11月24日(日)、12月の川崎市議会に請願署名を提出する。
- (3) 請願項目は、「小・中学校、特別支援学校の給食を無償にしてください」の1項目にする。
[☆署名用紙はここからダウンロードできます。](#)
- (4) ネット署名も実施する
- (5) 共同代表を各区で決めて活動をすすめる。共同代表は、子育て現役世代が担う。
- (6) 事務局は各区から世代を問わず選出し、共同代表と協力し、創意ある運動をすすめる。

この提案を受けて、再び、グループで意見を出し合ったあと、全体でも意見交流を行いました。その発言の多くは、準備してきた「行動提案」のレベルを超える積極的な意見が相次ぎました。参加者全員で給食無償化の運動を盛り上げていこう、成功させようとの熱気あふれるスタート集会となりました。

<2万人署名への協力を呼びかけます>

「学校給食の無償を求める川崎市民の会」は、子育て現役世代が、共同代表となり運動をけん引し、シニア世代が経験を活かし支える体制で進めることになりました。

さっそく、ラインでの交流やネット署名の準備が始まっています。

「会」では、請願署名スタートアクションを、6月30日に3カ所で行います。

南部地域は川崎ラゾーナ通路で11時から12時。

中部地域は溝の口駅前デッキで11時から12時。

北部地域は新百合ヶ丘駅前デッキで15時から16時です。

(学校給食の無償を求める川崎市民の会事務局)

■市議会でガザ停戦を求める決議が採択

6月19日の川崎市議会本会議で「国際法を遵守しガザ地区における即時停戦を求める決議」が全会一致で採択されました。

文面は以下の通りです。

<国際法を遵守しガザ地区における即時停戦を求める決議>

令和5年10月7日、パレスチナ自治区ガザ地区のハマス等武装勢力がイスラエル市民を標的とした攻撃や誘拐を実行し、その反撃としてイスラエルがガザ地区への空爆、地上侵攻、電力、燃料、物資等の封鎖を行い、半年以上が経過した。

この間、ガザ地区全体では医療従事者、国際機関職員、NGO職員等の民間人や罪のない人々が数多く犠牲になっており、ガザ地区の人道状況は壊滅的であると報じられている。

こうした事態を受け、本年3月25日の国連安全保障理事会では、紛争が始まって以来初めて、イスラム教のラマダン期間中の即時停戦のほか、全ての人質の即時かつ無条件の解放等を求める決議案が採択されたが、いまだ即時停戦や全ての人質の解放には至っていない。

本市は、真の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の念願であるとして、昭和57年に核兵器廃絶平和都市宣言を行い、これまでも世界の恒久平和実現のために取り組んできた。

よって、本市議会は、全ての紛争当事者に、国際人道法等の国際法を遵守し、ガザ地区における即時停戦に向けて行動するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

<半年ぶりの市議会の名誉回復になるのか？>

川崎市議会は、2023年の第5回定例会で、各党の合意が実らず、共産党市議団が提出した「国際法を遵守しガザ地区における即時停戦を求める決議(案)」を自民、みらい、公明、維新、無所属の反対多数で否決しました。

メルマガ「新しい川崎」104号(12月26日発行)では、「ガザ停戦意見書を否決した川崎市議会の異常」との記事を掲載し、ガザ停戦を求める国内外の大きな流れ(横浜市議会、神奈川県議会、都議会なども全会一致で決議)の中で、川崎市議会がガザ停戦を求める意見書を不採択にしたことに強く抗議しました。

市議会は川崎市民の代表です。そして、会派同士で合意できる文面を練り上げて決議をあげ、川崎市民の平和を求める願いを国の内外に表明することは、川崎市議会の大事な責務ではないでしょうか。

このメルマガ104号で、異常事態を知った読者から怒りの声が届き、市民自ら市議会会派への抗議行動が1月以降続いていました。

遅きに失したとはいえ、ガザ地区の緊急の停戦が最も必要になっているこの時期に、川崎市議会が全会一致で決議をあげたことを歓迎します。

この議決が、政府を動かす力となることを願ってやみません。(H)

★お知らせコーナー

① 大和ハウス本社前行動

～建てるな巨大物流倉庫！～

6/27(木)11時

東横線武蔵小杉駅ホーム東京寄りに集合

12時～13時 飯田橋、

大和ハウス本社前アピール行動要請文を提出

② 戦争の加害展 in 麻生 2024

6月28日～7月3日

@麻生図書館内麻生市民ギャラリー

連絡先 若槻(080-8725-8360)

[詳しくはこちら](#)

③ ゆめシネマ「マリウポリの20日間」

6/29(土) ①9時②12時③15時④18時

@かわさきゆめホール

一般:1000円

障がい者:500円

学生以下:200円

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

④ 川崎母親大会

7/7(日) 10時～分科会

(1) 映画「梅切らぬバカ」

(2) 包括的性教育ってなに？

(3) みんなちがって・・・当たり前

(4) 日本の食糧と農業のいま

(5) 巨大物流倉庫でなく、緑豊かな市民ミュージアムを

13時10分～全体会

文化行事:ヴァイオリン独奏:金澤文さん

記念講演:根本隆さん「心豊かに暮らしたい」～軍事費より社会保障の充実を～

[詳しくはこちら](#)

★編集後記

6月23日に、「子どもの未来をひらく川崎集会(通称、「未来集会」)」の実行委員会に参加してきました。

「未来集会」は、「子どもたちや青年たちが、より良い教育を受け、希望ある生き方ができるように願い、誰でもが参加できるつどい」を目ざして多くの市民の共同の力で、1991年から毎年1回開催され、今年で33回になります。

今年の「未来集会」は、12月1日に高津小を会場に開催、午前は、「NPO フリースペースたまりば」理事長の西野博之さんが「子ども・若者の豊かな成長とは？」をテーマに講演をします。

また、11月4日には、西野さんが深くかかわった「子ども夢パーク」取材した映画「ゆめパの時間」を、かわさきゆめホールで上映する計画も進んでいました。

「子ども夢パーク」は、川崎市子どもの権利条例を実現するための施設として、2003年にオープン。

発足時、多くの市民が自分たちの区にも子どもの権利条例を実現する施設づくりを期待しました。

しかし、第2の子ども夢パークは生まれなかったのです。

それどころか、子どもたちが自由に遊べる場も時間も年々削られてきました。

遊べる公園の不足は深刻で、人口あたりの都市公園面積は政令市20市中ワースト2位という現状です。

子どもの権利を守るためにつくられたもう一つは、人権オンブズパーソン制度です。

この人権オンブズパーソンが、5月20日に18年ぶりに意見書を提出し注目されました。

その中心は、学校現場のハラスメント対応が極めて不十分だという指摘でした。

人権オンブズパーソン事務局長は、6月20日の市議会で「全国に先駆けて子どもの権利に関する条例を制定し、人権尊重の街づくりを推進している本市において、大人にとっての権利侵害であるハラスメント問題に適切に向き合い、学校の職場環境を十分なパフォーマンスができるような風通しのよい働きやすいものとするのが、子どもの権利にも資する。」と今回の異例の意見書の提出理由を答弁しています。

川崎市子どもの権利条例がある川崎市で、子どもたちと先生たちの「悲鳴」が聞こえてきます。

子どもの未来をひらくために、今、子どもと先生たちを支える市民一人一人の力が本当に必要になっていると痛感しています。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/rbhFyCFs5HnM?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp